



# 本町小だより

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-honchou/>

2月号 令7年1月28日  
西東京市立本町小学校  
校長 高橋 浩一  
TEL 042-467-5956

## 音楽会アンケート回答

校長 高橋 浩一

本格的な冬の寒さを感じる今日この頃ですが、体調はいかがでしょう。昨年、猛威をふるっていたインフルエンザですが、感染のピークは越えたのかなと感じるところです。ただ、油断は禁物です。教室の換気、手洗いの励行といったことを継続して取り組み、本町小の児童の健康を第一に考えながら、有意義な日々となるよう教育活動を展開して参ります。

さて昨年行われた音楽会の保護者アンケートでは多くのご意見をいただきました。すべてにご回答することは難しいのですが、ご要望と思われるところを集約いたしまして、本校の実態をふまえた次年度以降の指針を回答として以下の通り、お示しいたします。保護者の皆様におかれましては、すべてが納得いくものではないとお感じになるかと思いますが、児童や本校の実態、学習としての意義、教職員の働き方改革の観点からご理解を賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。



### Q1 学年の多いクラスをプログラムで連続(3年は3クラス、5年も3クラス)にしない方が保護者の入れ換えがスムーズになるのでは？

#### A 進行上、時間がおすことはなかったのですが、再来年度もプログラム順は変更しない予定です。

保護者鑑賞日、前日の児童鑑賞日においては、音楽会の前半と後半のそれぞれで、低→中→高学年の流れで鑑賞できるようにしています。その中でも発達段階の近い学年を順に並べることで、児童が相互によさを実感できるような演奏順としており、その流れでリハーサルも行っているため、保護者鑑賞日だけ演奏順を入れかえるのは難しいところです。

### Q2 リボンを忘れたら入れないというのは厳しすぎるのではないかと思います。

セキュリティの強化で行っているのは理解できますが、せめて学校の入校証もあれば良いことにするなどもう少し柔軟な対応を検討しても良いと思います。

#### A 今年度もリボンを忘れた方がいた場合、名簿で児童名を確認し、リボンを配布して入場を認めています。また事前のお願いでリボンを紛失した方は担任までお知らせいただき、リボンを配布していました。学校の入校証だけで許可すると、当該学年と判別する機能が失われ、一昨年度の本町小スポーツの日のようなクレーム案件が増えてしまいます。

保護者の方が、この回答をお読みになり、「それならリボンの紛失や忘れがあっても何とかなる。」と思ってしまうと、学校としては大変困ります。当日、大量に予備のリボンを用意しなければならないこと、それがなくなってしまうと当該学年と判別するリボンがないことで、優先席に居座ることが発生してしまうからです。

**Q3** 五線譜にひらがなで「ど」「そ」などと書かれたものをもらっていましたが、音の高さや長さがわからないと困っていました。楽譜の読み方まで指導するのは大変かと思いますが、せめて、ピアノ等習っていて楽譜の読み方がわかる子供には音符が書かれた楽譜を渡すことはできないのかなと思いました。

**A** 発達段階を考慮して、1・2年生はひらがなやカタカナで書かれた譜面の表記が教科書の器楽合奏では採用されています。楽曲によって、通常の楽譜がある場合とない場合があります。ある場合にはその楽譜を配布いたします。ない場合は相談の上、音の高さや長さを分かるように指導してきます。

**Q4** ピアノが、奥すぎて、見えずとても残念でした。ステージの上などは空いていたので、もう少し打楽器のスペースを考えて欲しかった。  
楽器がもう少しステージ上にあった方が、全体的に観やすい気がした。

**A** ピアノの児童の様子が見られるよう、楽器の配列を検討します。

今年度もステージの上にドラム、ティンパニーといった打楽器を並べるプランも考えていました。しかし他校の音楽会の参観、音楽専科教員からの情報提供によると、その配列だとリズム楽器に他のパートの音が届かず、拍ずれが起きて児童の演奏のしやすさに悪影響を及ぼす懸念がありました。再来年度は、児童の演奏のしやすさを確保した上で、ピアノの児童の様子が見られる配列はできないか模索していきます。

**Q5** 学年によって、児童全体の雰囲気がとても違うな、と思いました。元気な学年、落ち着いた学年。それぞれの学年に合った曲や衣裳に、改善の余地があるのではないかと思います。  
また、合奏を短めにして、合唱をもっと聴きたかったです。理由は2つです。1つ目は、どの学年も合唱により心をうたれたからです。2つ目は、合奏は習い事の有無によって、初めから特別楽器に選出されるかどうかが決まってしまうからです。

**A** それぞれの学年の個性や発達段階に合った曲や衣裳を選択して臨んだのですが、さらなる改善となると正直悩んでしまうところです。再来年度も、普段の音楽の学習に基づいた、合唱・合奏(3年生以上はリコーダー奏も)を演目内に含め、児童の音楽発表の場としていきます。

「この学年にはこの曲、この衣裳」と具体的に教えていただければ幸いです。合唱により心をうたれたとありましたが、限られた指導時間の中で、1曲の合唱指導を丁寧に行い、よりよい表現を目指すことが児童の音楽表現の向上につながると考えます。合奏をカットするぐらいのことをやらなければ合唱2曲は披露できません。

合奏は習い事の有無によって、初めから特別楽器に選出されるかどうかが決まってしまうとありましたが、すべての学年において音楽科の学習指導要領に示される演奏技能の範囲内でオーディションを行い、特別楽器を決めています。実際に特別楽器になった児童はピアノなどの習い事をしていない場合も多いです。器楽合奏の特性から、技能を重視した人選にしていけないと合奏は完成しません。そこにある不平等感を排除していくとなると、特別楽器を使用しない合奏や抽選等で決めた人選での合奏となり、児童は全体として物足りなさを感じると思います。

Q6 衣装を合わせると見栄えがよく団結して見えるが、一日のために普段着としては使えない綺麗な襟付きシャツを購入することが負担に感じた。(子供はすぐサイズアウトするので本当にもったいない)白や黒の無地のTシャツなどにしてければ、普段着としても着られるので買う時に抵抗がない。

A 再来年度は、この日のためだけに衣装を購入する必要がないようにします。

Q7 マット席からは前の人の頭が邪魔でよく見えなかったので、パイプ椅子席をもう少し増やしてほしいと思った。他の学年の演奏は、席がなくて後ろで立ち見をするしかなく観覧が難しかった。学年優先席に座りましたが、前の方で正座をされている方がいて全く見えなかったです。マット優先席があったのがありがたかったが、足がしびれた。後ろの観覧席は空いていたけれど、座れない人で溢れかえっていたので、誘導の方がいるといいなと感じた。入替制という案内などが前面に出ていたことやパイプ椅子も限りがあり溢れていたように見えた為帰宅した。優先マット席は2.3列でかなり観にくくなる為半分にし、後ろを広くしていただいても良かったかと思う。再来年は是非全学年観たい。

A 再来年度はマット席の一番後ろにあるマット数枚を撤去し、そのスペースに当該学年優先パイプ椅子席を横2列分増やしたいと思います。他の学年の演奏を見ることができる後方パイプ席を増やすことはできませんが(体育館のスペースによる物理的問題)、今年度の後方パイプ席にも若干の空席があったとアンケートからもありましたので、空席を見付け案内する係を作って対応したいと思います。ただし、教職員にその係を行う余裕がなければ、世話人会などからボランティアを募集する試みを考えてみます。

Q8 アナウンスを待たずに最前列パイプ椅子に座る保護者がおり、不公平感がありました。次の学年の保護者は座席で待つよう分かりやすくアナウンスしていただければと思う。

A 再来年度は、「次の学年の保護者は、こちらからのアナウンスがあるまで、席を立たず、また移動もせず、そのままお待ちください」とアナウンスします。

Q9 世話人会の専用席がある意味が分かりません。しかも最前列。世話人会が優先される納得出来る理屈を教えてください。  
世話人会の席については、去年までそういった優遇についてはなかったように思う。(自分の子の卒業式に関する優遇のみ周知されていた認識です。)  
規程はないとはいえ、本町小スポーツの日、音楽会と行事ごとに優遇するのであれば、やはり事前に説明があるべきではないかと思った。また、全学年を通してずっと真ん中の特等席で見るというのは少し優遇しすぎではないかなとも感じる。去年まで役員をしてくださっていた方や、音楽会がない年の役員さんなど、不公平感もあると思うので、もう少し配慮すべきではないか。

A 今後も世話人会役員の方の優先席は、今年度同様、本町小スポーツの日ではご来賓席に、音楽会ではパイプ椅子最前列真ん中に設置していきたいと思います。

世話人会役員の方は、世話人会を運営する中心的な役割を担っていただいております。そして一月に一度来校していただき、様々な行事を都度、遂行していくための共通理解を図る重要な役割も担ってい

ただいております。世話人会そのもの（世話人会に入会してくださっているすべての保護者の皆様）に感謝しておりますが、中でも世話人会役員の方には敬意も表したいという思いから、世話人会役員の方の優先席を設置しています。

また、こうした優遇を保護者の皆様が情報としてお持ちになり、少しでも多くの方が次年度の世話人会の役員として立候補していただけるようになることも考えております。

その意味でも、事前に優遇の説明をする必要があったと反省しています。去年まで役員をしてくださった方や、音楽会がない年の役員さんなど、不公平感もあるとお考えは理解でき申し訳なく思うところですが、今ある学校運営に尽力してくださる方に感謝と敬意をお伝えし、次年度の世話人会の役員人選をスムーズに行っていきたい考えであることをご理解いただきたいと思います。

**Q10 優先席の一方通行制度は再考が必要そう。舞台向かって右側のマットの縁にスリッパを脱いで置いてきているので、取りに戻る人が多く、結局ごちゃごちゃする。立ち止まって話している人も多く、流れが停滞していた。**

**A 再来年度はマット席に座る際に脱いだスリッパは、外履き入れの袋(別の袋でもよい)に入れて座っていただき、一方通行制度はそのままとします。**

**Q11 自分の隣に立っていた方が、大きなカメラのシャッターを切り続けていたのが残念でした。**

**A 「パイプ椅子席、マット席では立たないでください。」とアナウンスしたり、諸注意の中に文言を付け足したいします。**

**Q12 次年度も展覧会ではなく、音楽会を行ってほしい。次年度は展覧会と音楽会の両方を行ってほしい。**

**A 次年度は展覧会、再来年度は音楽会を行います。**

図工の作品作りが好き、そして図工分野で能力を発揮する児童も多くいるので、展覧会も行う必要があると考えます。同じ年度に展覧会と音楽会を開催することができないのは、登校日数も決められており、また学習指導要領に定められた指導時間において、二つの文化的行事の発表は不可能であるからです。（国語や算数といった主要教科の指導時間を削減してまで、図工や音楽の指導時間を増やすことは認められていないからです。）

本校 HP 「スクールライフ」「学校だより」「令和5年度」「2月号」「Q1のA」もご参照ください。

**Q13 2年生と3年生の演奏で、曲の一部が被ったのは微妙だった。どうせなら全く別の曲を聞きたいと思う。**

**A 今まで学んだ蓄積を生かして、発表につなげるのが学校における学習となります。その意味では今後の音楽会においても曲の一部が被る、あるいは大部分が被る可能性があります。そこで、合唱・合奏のクオリティーやレベルが上がるよう指導していますので、その違いを感じていただきたいと思います。一般的なコンサートでは曲が完全に被らないのかもしれませんが、学校における音楽会では、教育の観点から曲が被ることもあると認識していただきたいと思います。**

**Q14** 合唱の際、前列で歌っていた子が合奏でも楽器を演奏していたので、学年全体で役割を均等にしてほしい。自分はどうせやらせてもらえないと自信をなくしている様子があった。

今回楽器のオーディションでスルをした子達がいる、オーディションが公平な状態でなかったと聞いた。本人の思い込みなのか、勘違いか、本当にそのようなことがあったのか、わかりませんが、追及するつもりも、もとめるつもりも全くないが、本人がやりたいオーディションにチャレンジしなかったのか、したけどだめだったのかはわかりませんが、やりたい楽器に挑戦してがんばりたかったという気持ちが叶わなかったのは残念だった。

パート決めて納得いかない所があったと子供が言っていた。

**A** 決められた指導時間において、ある程度の完成度を求めるといった音楽会の趣旨から、オーディションという形をとることは必要であると考えます。

今年度も基本は、オーディションとしていました。オーディションの方法は、実際に希望する楽器を演奏するのではなく、打楽器を希望する児童ですらも全員が同じ条件で課題とする鍵盤パートの演奏で行いました。

そのねらいとしては、まず学習指導要領に示されている技能が習得できているかを確認すること、そして習い事による特別楽器の慣れ親しみからくる技能だけで選定しないことの二つがありました。つまり、ある一定の水準に達している児童であれば特別楽器を担えるチャンスはあり、その中で実際に希望楽器を演奏したり、話し合ったりする形をとっていました。そのねらいが十分に児童に伝わっていないことで、不公平感を抱いている可能性があると思います。

またオーディションに捉われない方法で役割を募ってもいます。例えば4年生の合唱の際、前列で歌う児童に関しては、完全立候補制にしており、児童の意欲を優先する呼びかけを行っています。

**Q15** 全体を通して、子供たちが作り上げた音楽会という雰囲気がよく出ていた。(校長先生のご挨拶や来賓の紹介がなかったのもそのせいでしょうか?)

**A** 音楽会で校長挨拶を行わなかったのは、本町小スポーツの日とは違い、どのタイミングでご挨拶したとしても、すべての学年の保護者にご挨拶できないと判断したからです。来賓紹介に関しては、入学式、卒業式、周年行事といった儀式的行事の際は行いますが、本町小スポーツの日、音楽会といった文化的行事、体育的行事では行いません。

本町小スポーツの日は開閉会式において、全員ではありませんが、すべての学年の保護者がいらっしやると判断して、校長はご挨拶しています。また今年度は本町小スポーツの日が土曜日開催でしたら市長が来校される予定でしたが、それでも来賓紹介を行う予定はありませんでした。こうした判断の結果、全体を通して、子供たちが作り上げた音楽会という雰囲気がよく出ていたとだけ思っていたことは、とてもありがたいです。

## 2月の行事予定

1	土		17	月	お別れスポーツ(5・6年)
2	日		18	火	ふれあい開放
3	月	全校朝会、委員会活動	19	水	長縄タイム終
4	火	3～5年生5時間授業、本町っ子タイム⑩	20	木	体育朝会
5	水	B時程、体育朝会	21	金	A時程5時間授業(3・4年)、家読
6	木	たてわり班お楽しみ会、幼保交流会(1年)、 長縄タイム始、2・3年生ステップアップ	22	土	
7	金	午前授業、児童集会、家読	23	日	天皇誕生日
8	土		24	月	振替休日
9	日		25	火	6年生を送る会、1年生ステップアップ
10	月	B時程、安全指導朝会、クラブ見学(3～6年)、 社会科出前授業(6年)	26	水	A時程5時間授業、リトルティーチャー
11	火	建国記念の日	27	木	A時程5時間授業(5・6年)
12	水	B時程、避難訓練	28	金	A時程5時間授業
13	木	B時程、音楽朝会			
14	金				
15	土	C時程4時間授業、道徳授業地区公開講座			
16	日				



### 2月の生活指導・安全指導

- ・健康を守る工夫をしよう。話をしっかりきこう。(生活目標)
- ・寒い時期の遊び方。(安全目標)

寒く、乾燥した季節には、インフルエンザなどの感染症の広がりが心配されます。感染防止のためには、毎日の健康観察、手洗い、換気が欠かせません。1年の中で最も寒さの厳しい時期ですが、学校でも寒さへの対策(防寒着など)をしながら、換気等に気を付けていきます。

学校は、話を聞いて学ぶ場が大変多いです。話をしっかり聞くことで、賢く、人の気持ちを理解できる優しい人になります。聞き方名人を目指し、意識を持って聞く習慣を付けていきます。

校庭や室内での遊び方についても子供たちと、楽しく過ごすためにはどうしたら良いか話し合い、安全に気を付けて過ごしていきます。

### 道徳授業地区公開講座

令和7年2月15日(土)に、道徳授業地区公開講座を実施します。今年度は、2、4時間目に道徳及び各教科を参観していただきます。

3時間目には西東京市教育アドバイザー・前校長中村千佳子先生による講演会を予定しています。お時間のある方はぜひご参加ください。詳しくは先日配布したお便りをご覧ください。

### 6年生を送る会

2月25日(火)に6年生を送る会を行います。この会は、卒業する6年生に、これまでお世話になった感謝とお祝いの気持ちを表すものです。

低学年・中学年・5年生でそれぞれ工夫した出し物を行い、そのお返しに6年生も出し物を行って、思い出に残る楽しいひと時を過ごす予定です。一人一人の児童が心を込めて6年生のために、6年生は下級生のために出し物を行うことになると思います。当日が楽しみです。